

雨竜町CS（コミュニティ・スクール）だより

故郷（ふるさと）

発行 雨竜町立学校 学校運営協議会

令和3年（2021年）7月21日発行

令和3年度NO.2



学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むための仕組みが整い、小学校・中学校が「地域とともにある学校」作りをめざし特色ある教育活動を進めているところです。今回は、その取組の様子を紹介します。

「田んぼ de アート」（小学校6年生）

空知管内で最大級規模の田んぼアートを、今年もJ A 北空知青年部雨竜支部とのコラボ事業として、小学校6年生に指導をしていただきました。児童が5年生の時に描いたイラストを元にアートの原画を作成し、原画を元に数種類に色分けされた苗を植えました。

今年のイラストのテーマは、雨竜町とパートナー協定を結んでいる「北海道日本ハムファイターズ」のマークを取り入れたデザインとなりました。

6月17日の田植え当日には、雨竜小の児童に加えて、球団マスコットの『B・B』やファイターズガールの2人が駆けつけ、子供たちと力を合わせて植えることができました。

6年生らが担当した場所はファイターズの『F』を中心にしたデザインで、色の濃い古代米の苗で一本一本手植えをしていきました。修了後、感想発表に立った児童は、「植えた苗が計画通りに『F』の字になるのが楽しみ」と発表していました。この様子は、その後、テレビや新聞等でも取り上げられました。



職場体験学習（中学校2年生）

6月22日（火）に中学校2年生の職場体験学習が町内各事業所で行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言が実施直前まで発令されており、厳しい状況の中での実習でしたが、雨竜町商工会並びに各事業所の多大なるご協力をいただき本年度も実施することができました。新型コロナウイルス感染防止対策・対応で大変な時期に、生徒を受け入れていただきました各事業所の皆様には深く感謝申し上げます。

生徒たちは、それぞれの事業所で働く大人と接して体験したことなどから、仕事に対する思い、やりがい、厳しさなどを学び、社会に出るために、今何をすべきか、何を学ばなければならないかということを感じたり、考えたりするきっかけをいただきました。義務教育の最終段階である中学生が地元でキャリア教育を実施することは、大変有意義なことであり、ふるさとキャリア教育の総括として地元の方々の協力を得ながら、今後もしっかりと継続していきたいと考えています。

